

高校受験スーパーチェック社会 (旧版)

※当教材は、旧版につき、一部、年度資料やデータが現状と合わない場合があります。最新の内容は、「成績保証社会」をご確認ください。

社会は3年間の積み上げではないので、中3の学習は理解できても、中1の内容はまったく忘れていたといったこともあります。そのような方も、無理なく学習できる構成なので、だれもが短期間に、高校受験の全範囲を復習することができます。もちろん社会の学習が進んでいなくて、短期間に復習したい方にも最適です。この教材の学習を終えたら、「高校受験社会」にも挑戦してください。さらに、高得点がねらえます。

■□■ 目次 ■□■

1. 地理

・地図のよみかた

- 日本から最も遠い国
- 経度(けいど)0度の線
- イギリスとの時差
- 東京の真東にある都市
- 東京の裏側にあたる緯度と経度
- 地形の種類(扇状地)
- 実際の距離(5万分の1の地形図)
- 等高線の幅
- 実際の距離(2万5千分の1の地形図)
- 地図記号

・世界の自然

- 世界の国名と位置
- ヨーロッパの国名と位置
- 海に面した国
- 世界の川
- 南アメリカを通る赤道の位置
- アフリカを通る赤道の位置
- 環太平洋造山帯
- 四大河文明の1つが栄えた川
- サバナ気候

地中海性気候

- 西ヨーロッパに分布する気候区と同じ気候
- 雨温図が表す気候区名(1)
- 雨温図が表す気候区名(2)
- 雨温図が表す気候区名(3)
- 世界最大のさばく
- 中央平原
- ステップ気候
- 季節風
- 針葉樹林帯(タイガ)

・アジア・アフリカ

- 世界一の人口をもつ国
- オランダから独立した東南アジアの国
- カースト制度の身分制度の残る国
- 中国からの移住者(華人)
- アジアでの農作物の産地
- 中国最大の石油産出地(ターチン)
- アジアの国の輸出品割合
- 大農場による商品作物の栽培(プランテーション)
- 石油の産出量のもっとも多い国(サウジアラビア)
- 人種隔離政策をおこなった国
- 東南アジアで唯一植民地支配を受けなかった国

仏教やヒンドゥー教の発祥地
ギニア湾沿岸の輸出用商品作物
サハラさばく南部の地域
農作物の国別生産高割合
NIES(ニーズ)
経済特区

・ヨーロッパ・旧ソ連

ヨーロッパの組織(EU)
産業革命がおこなわれた国
EC最大の農業国
北海に面する国
1990年に東西2つの国が統一した国
西ヨーロッパの物資輸送の大動脈
ヨーロッパ最大の工業地域
氷河によってけずられた複雑な海岸地形
西ヨーロッパの気候
北海道と同じ緯度の国(イタリア)
混合農業
黒土地帯の農作物(小麦)
乾燥帯地域の農作物(綿花)
イギリスやノルウェーが開発する油田
永世中立国
オランダ、ロッテルダムの大貿易港
ルール工業地帯の中心都市

・南北アメリカとオセアニア

夏は高温乾燥、冬は温暖湿潤な気候の都市
針葉樹林帯の名称(タイガ)
ラプラタ川下流の温帯草原(パンパ)
セルバの気候
国土面積の大きい順
メガロポリス
サンベルト
コーヒーの生産が世界一
羊毛の生産が世界一
アメリカ合衆国の農業

掘り抜き井戸のある平地
輸出品割合のグラフ
わが国に対する輸出割合
自動車工業のさかんな都市
電子工業など先端産業の発達している地域
インディオと白人の混血
ヒスパニック

・日本の自然

都道府県名(1)
都道府県名(2)
扇状地
リアス式海岸
黒潮
親潮
日本の地名(1)
日本の地名(2)
日本の地名(3)
日本の都市の雨温図
日本の中心を通る経度
北海道東部の火山灰台地
日本最大の平野
日本で最も長い川
背骨のように南北にはしっている山地
日本アルプス
四国地方をはしる山地
日本列島が属している造山帯
水深が急に深くなっている地域
日本の気候に影響をあたえている風
南西諸島の気候
日本の人口

・九州・中国・四国・近畿地方

九州南部の火山灰台地
シラス台地での農作物
海の干拓と稲作
促成栽培のさかんな平野

みかんの生産高が全国で第1位の県
私有林の多い山地
秋吉台の地形
日本最大の湖
九州地方の海
讃岐平野のかんがい用水
広島県が全国で第1位の養殖生産物
重工業の先駆けとなった工業地帯
各都市で共通してさかんな工業
石油化学工業のさかんな岡山県の都市
九州地方の空港や高速道路の近くでさかんな工業
第二次世界大戦前の工業地帯
各工業地帯の業種別工業製品出荷額
北九州工業地帯の工業

・中部・関東地方

日本最長の川
輪中で稲作をおこなう平野
牧ノ原で栽培される農作物
りんごの生産, 高冷地農業
扇状地でぶどう・ももの栽培がさかんなところ
輪島市のある半島
山梨県が日本有数の生産をあげるくだもの
冷涼な気候を利用した農業
四日市ぜんそく
自動車工業のさかんな都市
業種別工業製品出荷額の割合
京浜工業地帯で特色となる工業
京葉工業地域
わが国を代表する貿易港をもつ県
戦前は製糸業が発達していた都市
掘り込み港から発達した工業地域
中京工業地帯の伝統的な工業製品
わが国最大の工業地帯
空港の輸出品目

・東北・北海道地方

根釧台地
やませ
三陸海岸の地形
潮目
東北地方を南北にはしる山脈
冷夏による農作物への被害
りんごの生産高が全国第1位の地域
最上川下流の稲作地域
日本の稲作農業のモデルとされた湖
大規模な専業農家による農業地域
北海道東部の北洋漁業の根拠地
東北地方の政治・経済の中心地
製糸・パルプ業がさかんな北海道の都市
街路がごぼん目状の北海道開拓の拠点都市
減反や転作
北海道の漁業基地での工業
盛岡でさかんな在来工業
空港や高速道路の近く進出した新しい工業
精糖業の原料

・世界の中の日本

小麦の輸出国
東南アジアの国々で輸出のさかんな農作物
輸入額の割合がもつとも大きい品目
アメリカ合衆国などからの輸入にたよっているもの
石炭・鉄鉱石・羊毛の輸入先

・テーマ別;世界の産業

米の栽培地域
小麦の栽培地域
綿花の栽培地域
茶の栽培地域
コーヒーの栽培地域
カカオの栽培地域
プランテーション
混合農業
地中海式農業

酪農

世界でもっとも石油埋蔵量の多い地域

中国の油田

東南アジア最大の石油産出国

アメリカ合衆国の油田地域

アメリカ合衆国の鉄鉱石の産地

西ヨーロッパ最大の鉄鉱石産出国

オーストラリア北西部での鉄産資源

西ヨーロッパ最大の炭田

すずの産地

西ヨーロッパ最大の鉄鉱石産出国

インドの重工業都市

西ヨーロッパでもっとも工業のさかんな国

アメリカ合衆国の工業地域

旧ソ連最大のコンビナート

紙・パルプ工業がさかんな国

自動車工業のさかんな都市

製鉄のさかんな都市

NIES

・テーマ別;日本の産業

米・りんご・てんさいの栽培地域

茶・ぶどう・なしの栽培地域

米・みかん・さくらんぼの栽培都道府県

筑紫平野

シラス台地

みかん栽培のさかんな県

野菜の促成栽培がさかんな平野

讃岐平野

濃尾平野

京浜工業地帯

阪神工業地帯

中京工業地帯

北九州工業地帯

京葉工業地域

瀬戸内工業地域

日本の工業都市

・テーマ別;世界と日本の貿易

各国の輸出品構成(1)

各国の輸出品構成(2)

オーストラリアの貿易相手国

わが国の資源の輸入先

わが国への輸出品構成(1)

わが国への輸出品構成(2)

・テーマ別;世界各国の特色

漢民族中心の国

東南アジアの人口をもつ国

東南アジアで唯一植民地支配を受けなかった国

きびしい身分制度の残る国

古代文明の栄えた国

アパルトヘイトをおこなった国

EU最大の農業国

ルネサンスのはじまった国

産業革命を世界最初に達成した国

EUの玄関口

ヨーロッパの工業地帯をもつ国

旧ソ連最大の共和国

ラテン民族の国

ロシア連邦につぐ広大な国土をもつ国

日本の約 25 倍の国土をもつ国

コーヒーの生産高世界一の国

ラプラタ川流域の国

マヤ文明・アステカ文明のうまれた国

1959 年の革命によって社会主義国となった国

日本と同じ造山帯に属する島国

羊毛生産が世界一の国

・テーマ別;日本各地の特色

シラス台地がひろがるどころ

明治の初めから開発が進んだところ

酪農と漁業のさかんなところ

果樹栽培, 高原野菜の栽培がさかんなところ

いぐさの生産がさかんだったところ
茶やみかんの栽培がさかんなところ
重化学工業の大工場がちなところ
みかんの生産が全国一のところ
輪中のあるところ
千葉県北部にある台地
干拓された九州地方の平野
日本一のりんごの産地
原子力発電の中心地
赤潮が発生しやすい水域
原爆が投下された都市
横浜とならぶ貿易港のある都市
かつてパルプ・製紙工業のさかんな都市
ひとつの企業が大きな影響をあたえている都市
楽器やオートバイの生産がさかんな都市
屯田兵によって開拓された都市
多くのぜんそく患者をだした都市
自動車工業がさかんな都市

2. 歴史

・文明のおこりと古代国家の成立

女性をかたどった土製の人形
邪馬台国を治めた人物
邪馬台国や卑弥呼についての歴史書
前方後円墳がつくられた時期
朝鮮半島から移り住んだ人々

・古代国家の発展

推古天皇の摂政
役人の守るべききまり
遣隋使
飛鳥文化を代表する建築
中大兄皇子らの改革
戸籍と口分田
672年の跡継ぎ争い
701年に制定された法律
平城京のモデルとなった都市

土地の永久私有を認めた法令
聖武天皇が建立した寺
平城京を中心に栄えた文化
「貧窮問答歌」がおさめられている和歌集
摂政・関白による政治
開墾された貴族や寺社の私有地
税を朝廷に納めなくてもよい権利
平安時代に栄華をほこった人物
平安時代の文化
平安時代の建築様式
阿弥陀仏で幸福を願う仏教信仰
藤原氏が平泉に建てたもの
紫式部の作品

・封建社会のおこり

上皇による政治
政治の実権をにぎった武士の棟梁
鎌倉幕府がおかれた県
租税や徴収や治安などをつかさどる
御家人
承久の乱
六波羅探題
北条氏の役職
御成敗式目
日蓮
道元が宋から伝えた教え
金剛力士像がある鎌倉文化の建築
日本をヨーロッパに紹介した人物
元寇がおこった時期
御家人を救う政令
室町幕府3代将軍
明との貿易
勘合貿易の港町
金貸しの商売
農民が徳政を求めておこした最初の一揆
観阿弥・世阿弥による芸能

室町幕府8代将軍
銀閣の建築様式
水墨画を大成した人物
応仁の乱

•ヨーロッパ世界の形成

イスラム教を開いた人物
7世紀に成立した帝国
ローマ法王が送った遠征軍
古代ギリシア・ローマ文明の復興
カトリック教会への抗議運動
宗教改革の時期
西インド諸島に着いたイタリア人

•封建社会の完成

実力のある大名
大名がつくったきまり
鉄砲伝来の時期
キリスト教伝来
全国統一を進めた人物
検地
刀狩
ポルトガルやスペインとの貿易
茶道を大成した人物
大名統制のために定めたきまり
徳川家光のときに定められた制度
天草四郎を中心とする農民反乱
鎖国中に貿易を許された国
鎖国中唯一の貿易港
農民の生活を統制するきまり
江戸時代からの農具
上方を中心とする町人文化
「日本永代蔵」の作者
享保の改革をおこなった人

•ヨーロッパの近代化とアジアへの進出

イギリスの絶対王政を確立した人
1688年のイギリスでの革命

フランスで発表された宣言
産業革命の始まった国
イギリスと清とのあいだでおこった戦争
リンカーンの奴隷解放宣言

•封建社会の動揺と近代日本の成立

株仲間を奨励した老中
寛政の改革をおこなった老中
国学を大成した人
杉田玄白らの解剖書
化政文化
天保の改革をおこなった老中
下田と函館の2港を開いた条約
井伊直弼が結んだ不平等条約
井伊直弼が条約の反対派を処罰
新政府と旧幕府との戦い
地租改正
殖産興業としての官営工場

•近代日本の発展

「学問のすゝめ」の作者
自由民権運動の中心人物
西郷隆盛の反乱
ルソーの思想を紹介した人
憲法制定にたずさわった人物
選挙権をもった人々
不平等条約の改正点
日清戦争後の講和条約
遼東半島を清に返す要求
日露戦争のきっかけとなった事件
日本と同盟を結んだ国
日露戦争後に結ばれた条約
朝鮮の植民地化
不平等条約の改正点
中華民国が成立するきっかけ
工業の急速な発達
北九州に設立された官営工場

•2度の世界大戦と日本

三国協商を結んだ国
第一次世界大戦に参戦する理由
第一次世界大戦中のできごと
中国に対して出した要求
日本に抗議する中国の民族運動
第一次世界大戦後に結ばれた条約
ウィルソンによる国際機関
軍縮のための国際会議
富山県からひろまった騒ぎ
立憲政友会の総裁
民主主義を求める時代の動き
差別からの解放を求める団体
立憲政治を守ろうとする動き
民本主義を唱えた人
普通選挙制が成立した年
深刻な不景気の波
ルーズベルトの景気回復策
国際連盟を脱退するきっかけ
軍部により首相が暗殺された事件
ナチスの首相
日本が受諾した宣言

•新しい日本と世界

日本国憲法の主権
有権者数の増大
巨大資本の整理
農村の民主化
朝鮮半島におこった武力衝突
日本が独立を回復した条約

•テーマ別;政治史

女王卑弥呼が治めていた国
大王(天皇)を中心とした連合国家
聖徳太子による政治の心がまえ
中大兄皇子らによる新しい政治
唐の制度をまねて定められた政治のきまり

墾田永年私財の法が制定されたときの天皇
平安京に都がうつされた年
藤原氏の政治
日本の工業都市
荘園や公領においた役人
後鳥羽上皇らによる政権争い
鎌倉幕府が京都においた役所
執権北条泰時が定めたきまり
文永の役・弘安の役
室町幕府の3代将軍
将軍のあとつぎ問題と守護大名による争い
戦乱の世を統一した人物
大名をとりしまるためにつくった法律
江戸時代の貿易
8代将軍徳川吉宗の政治改革
老中松平定信の幕政改革
老中水野忠邦がおこった政治改革
貿易の開始を定めた条約
明治政府の新しい租税制度
言論によっておこした運動
伊藤博文が草案を作成したもの
日清戦争で清と結んだ条約
リャオトン(遼東)半島の返還
日露戦争の講和条約
1911年の条約改正
1914年におこった世界的戦争
富山県の漁村からおこった事件
最初の本格的な政党内閣
25歳以上のすべての男子に選挙権を認める制度
1931年の日本の大陸進出
犬養毅の暗殺事件
1941年に日本が宣戦布告した戦争
日本の降伏
地主・小作制度の解体
日本の独立回復

・テーマ別;社会・経済史

まじない用の粘土の女性像
貧富の差ができた時代
大陸の文化を伝えた人々
大化の改新後の土地制度
708年につくられた貨幣
土地の開墾者に土地私有を認めた法
稲を納める税
「貧窮問答歌」の作者
口分田を捨てた農民
米のあとに麦をつくる
定期市
高利貸を営んだ人たち
手工業者の同業組合
農民の話し合いの場
農民たちの抵抗運動
織田信長の商工業者への政策
豊臣秀吉の田畑調査
農民の武器とりあげ
農民の生活を制限するきまり
江戸時代の農具
「天下の台所」とよばれたところ
江戸時代の商工業者の同業者組合
分業による新しい生産方法
庶民の教育機関
米商人をおそう暴動
輸出の一番多かった品目
地価の3%を金納させた制度
四民平等
西洋風に変化した社会
富岡製糸場や八幡製鉄所の開業
足尾銅山鉍毒事件
民主主義を求める風潮
差別からの解放
民主主義を唱えた人物

軍部の台頭とともにひろがった考え
国民生活に必要な物資の調達
資本家の独占形態の解消
農村の民主化
日本国憲法前文と第9条
重化学工業の飛躍的な発展

・テーマ別;文化史

仁徳天皇陵の古墳の形
百済から伝わったもの
聖徳太子が建立した寺院
聖武天皇のとき栄えた仏教文化
大陸の東西交通路
聖武天皇が奈良に建立した寺院
平安時代の文化
平安時代の建築様式
空也や源信が唱えた仏教信仰
紫式部の作品
鎌倉時代の新しい仏教
金剛力士像のある建物
ヨーロッパに日本を紹介した人物
観阿弥・世阿弥の芸能
銀閣の建築様式
水墨画を大成した人物
イタリアにおこった文芸復興の動き
茶道を大成した人物
上方を中心に栄えた文化
「日本永代蔵」の作者
国学を大成した人物
杉田玄白らによる解剖書
江戸時代後期に栄えた文化
美人画で有名な人物
「学問のすゝめ」の著者
「社会契約論」をほんやくした人物
日本の古美術の復興
写実主義の運動をおこした人物

明治の文豪

人道主義の立場をとった作家たち

「暗夜行路」の著者

「羅生門」の著者

社会問題をあつかった文学

大正時代の文化

・テーマ別; 対外関係史

金印を授かった王

卑弥呼のことが書いてある歴史書

大陸の文化を伝えた人々

仏教を日本に伝えた国

遣隋使として派遣された人物

朝鮮半島を統一した国

奈良時代の文化に影響をあたえたもの

唐招提寺を開いた僧

国風文化が栄えた理由

日宋貿易

道元と栄西の王朝

日本をヨーロッパに紹介した人物

文永・弘安の役

中国や朝鮮沿岸をあらす人々

勘合貿易の相手国

鉄砲を伝えた国

キリスト教を伝えた人物

ポルトガルやスペインとの貿易

徳川家康の貿易

貿易の禁止

通商をもとめたロシアの使節

開国を求めたアメリカの使節

下田と函館の開港

井伊直弼が結んだ不平等条約

条約改正のための使節団

大日本帝国憲法の草案

条約改正の実現

日清戦争の講和条約

リャオトン(遼東)半島の返還

日露戦争の講和条約

日本が併合した国

日露戦争後の条約改正

日本の第一次世界大戦への参戦理由

満州にひろげた日本の権益

世界平和を目的に設立された組織

軍縮を話し合う国際会議

国際連盟を脱退するきっかけ

日本と中国の戦争

第二次世界大戦と太平洋戦争の終結

日本の独立回復

3. 公民

・人権思想の発達

「市民政府二論」の著者

「法の世界」の著者

1776年アメリカでの宣言

フランス革命の宣言

国際的な基本的人権の保障

・日本国憲法と基本的人権

1945年に日本が受け入れた宣言

国の政治を決定する権限

前文と第9条に規定される原則

核兵器の原則

侵すことのできない永久の権利

差別されない権利

発表できる権利

職業や財産の自由

健康で文化的な最低限度の生活

教育を受ける権利

勤労の権利

情報の公開を求める権利

社会全体の利益

3つの義務

・地方自治・選挙

地方自治体が制定するもの

地方自治体の仕事

地方自治の原理

直接請求権

リコールとは

特別法の成立

国からの補助金

国の使いみちを指定して負担する支出金

選挙権や被選挙権についての法律

被選挙権の年齢①

被選挙権の年齢②

選挙の原則

任期

任期

参議院議員の改選

選挙制度

有権者数の増加理由

・国会・内閣

国会は国権の何か

国会は唯一の立法機関

法律案の審議

専門家などから意見を聞くために開く会

法律の公布

内閣総理大臣の指名

憲法改正の発議

弾劾裁判所

国の政治を調査する権限

衆議院の優越

内閣が責任をはたしていないとき

衆議院議員総選挙後にはじめて開かれる国会

不信任が決議されたとき

内閣が国会に責任を負うしくみ

内閣に属している権限

国務大臣の任命

内閣の仕事

内閣の権限

・裁判所・三権分立

最終的に判断する裁判所

最高裁判所の裁判官が受ける審査

裁判を3回まで受けられるしくみ

控訴と上告

人と人の争いでおこる裁判

訴えた人

裁判官が従わなければならないもの

裁判所の権限

国の政治を動かす権力の分立

三権分立の関係

・国民経済・価格

3つの経済主体

家計が提供するもの

商品のかたちをとらないもの

価格の種類

価格の種類

需要と価格

供給と価格

需要と供給

政府や国会、地方自治体が決める料金

公共料金でないもの

物価指数の種類

・生産・資本

経済体制の種類

「諸国民の富(国富論)」の著者

経済活動の変動

通貨の価値

物価が上がり続ける現象

通貨の価値

不景気をまねく現象

独占の弊害をなくす法律

独占禁止法の運用

会社のしくみ

世界各国に進出する企業

•金融・財政・貿易

日本銀行券を発行する機関
日本銀行が貸し出すときの利率
租税の種類
国税の種類
国税の直接税
企業に対する租税
税率に関する税法
国家が発行するもの
重要産業の振興や住宅建設の援助のための歳出
社会保険や国民年金などに用いられる経費
国からその使いみちを指定される補助金
収支の種類
円の価値
円の価値と輸入品のねだん

•今日の社会とわたしたちの生活

労働三法
国内で新しく生産された価値の総額
急速な経済発展
石油輸入国の混乱
人口が増加した産業
人口が減少した産業
人口の増減の少ない産業
消費支出に占める食料費の割合
公害に対する法律
社会保障制度の種類
社会保障制度の種類
家族に関する法律
親等の種類
遺産相続の割合

•国際経済と国際政治

国際貿易に関する協定
先進諸国と発展途上国の対立
国際平和のための機関

国際連合のなかの機関

国際連合のなかの機関

国際連合の専門機関

西ヨーロッパで発足した組織

急速に経済力を高めた地域

•テーマ別;日本国憲法

モンテスキュー「法の世界」
ロックの思想と独立宣言
フランスの人権宣言
世界人権宣言
社会権
国民権
平和主義
基本的人権の尊重
公共の福祉
地方自治
条例
直接請求権
国庫支出金
普通選挙
公職選挙法
比例代表制

•テーマ別;民主政治のしくみ

国会
二院制
衆議院の優越
憲法改正の発議
議院内閣制
行政権
内閣総理大臣の任命
国務大臣の任命
司法権
三審制
国民審査
内閣総理大臣の指名

弾劾裁判
衆議院の解散
最高裁判所長官の指名
違憲立法審査権
内閣の行政行為の監視

・テーマ別;経済のしくみ

労働力
市場価格
需要と供給
公共料金
消費者物価指数
拡大再生産
資本主義経済
株式会社
多国籍企業
好景気
インフレーション
カルテル
公正取引委員会
公定歩合
租税
直接税のしめる割合
所得税
累進課税制度
財政投融资
国庫支出金
労働基準法
国民総生産
第3次産業
第2次産業
社会保険
公的扶助
民法
民法

・テーマ別;日本経済と国際社会

通過の交換の比率
外国との取り引きで生じた収入と支出の差額
円の価値
円の価値と輸入品のねだん
国際経済協力機関
ヨーロッパの地域的統合体
先進国と発展途上国の経済格差
急速に経済力を高めてきた国々
国際平和のための機関
国際連合における最高の議決機関
教育・文化などで協力する専門機関
核実験を禁止した条約